

○放射線被曝事故例について	【14】
---------------	------

**【14】 過去 60 年間の放射線事故**

- 英語タイトル：Radiation accidents over the last 60 years
- 著者名：Nénot JC
- 雑誌名：Journal of Radiation Protection, 29, 301-320(2009)
- 論文種別：総説
- 核種：コバルト-60、セシウム-137、イリジウム-192、ヨウ素-131、ストロンチウム-90、ポロニウム-210、リン-32、ラジウム-226、金-198
- 研究対象：放射線防護
- キーワード：Radiation accidents, Radiation-induced health damage
- 索引用キーワード：放射線事故、急性被曝、事故原因
- 引用を図表点数：表 1 点

**【要約】**

第 2 次世界大戦以後の主な放射線被曝事故例を紹介した総説であり、国連「放射線の影響に関する科学委員会」報告（2007 年）およびその他の信頼できる文献から、少なくとも 600 の事象と約 70 の深刻な事故による 200 の致死的な急性被曝例について検証し、その中から、分野毎に代表的なもの 44 件について、詳述している。医療分野での誤投与、誤飲による内部被曝の事例を除いて、事故の 50% は産業分野で発生し、20% は研究分野、12.5% は原子力発電分野、10% は医療分野、5% は軍事分野で発生した。事故例は、発生から公知までの期間（直後、遅滞、公開されず）及び事故の重篤度（簡単に管理可能、管理困難、破局的）に基づき、9 グループに分類している。本総説では、訓練不足などヒューマンエラーが主要な事故原因であることを指摘している。